

もりれん情報



三重県森林組合連合会

〒514-0003

三重県津市桜橋1丁目104番地

TEL : 059-227-7355

<https://mie-moriren.or.jp/>



◇◇ 令和8年 年頭のご挨拶 ◇◇

三重県森林組合連合会 代表理事長

森 秀 美



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、組合員をはじめ関係各位に本会の事業運営に対し、多大なるご理解とご支援、ご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

昨年を顧みますと、ウクライナや中東地域等における不安定な国際情勢、米国の関税措置、円安によるエネルギーと資材価格の高騰、少数与党による政権運営など国内外において、経済・政治の両面で不透明な状況が続きました。また、全国で発生した自然災害や大規模火災は、地域社会に甚大な被害をもたらしました。被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復旧・復興を祈念いたします。

このような中、国においては、昨年6月に閣議決定された第1次国土強靭化実施中期計画において、推進が特に必要となる施策に森林整備対策が位置づけられました。また、花粉症対策の一環として花粉の少ない森林への転換も進められています。さらに、高市内閣が掲げる「責任ある積極財政」を基本理念とした総合経済対策が推進されています。これらをはじめ国・県の施策を最大限活用して、県土の保全、森林資源の適切な管理と循環利用の拡大による山村地域の活性化を進めていくため、我々森林組合系統はその担い手としての役割をしっかりと果たせるよう本年も引き続き取り組んでいきます。

また、我が国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るために令和元年度に導入された「森林環境譲与税」の活用では、県内森林所有者の意向調査が進んでおり、調査結果に基づく境界確認や森林整備をさらに加速化する必要が生じています。税の目的に沿って、組合員の皆様の山林での必要な施業に結びつくよう、市町との連携を図り取り組むとともに、森林組合の無い北勢地域においては、本会を中心となって進めていきます。

加えて、本会の役割である県内森林組合系統の組織力を高め円滑な事業推進に資するため、技術者の育成、労働安全意識の改善、役職員各位の資質の向上、系統内の情報共有等にも引き継ぎ力を入れていきます。

言うまでもありませんが、森林は地域の暮らしや環境を支える重要な基盤です。関係機関・団体の皆様との連携を一層深め、三重の森林の豊かな恵みを未来へ繋ぐため、全力を尽くす所存でございますので、引き続きご支援、ご協力をお願いするとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。本年もどうぞよろしくお願いします。

◇◇ 令和8年 年頭御挨拶 ◇◇

全国森林組合連合会 代表理事長

中崎 和久



年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、弊会の業務運営につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、昨年も全国各地で豪雨などの自然災害が発生しました。特に、岩手県大船渡市はじめ各地で発生した大規模な林野火災では多くの森林が焼失し、地域住民の生活にも大きな影響が生じました。これらの災害により被害を受けられた皆さまに衷心よりお見舞いを申し上げます。

また、昨年は全国各地で例年以上に熊の目撃や被害が相次ぎました。この背景には餌となる堅果類の凶作だけでなく、里山の衰退を起因としたナラ枯れの拡大や人工林の荒廃等も原因であると考えられます。全国の森林組合系統の皆さまにおかれましては、従業員の命を守ることは勿論のこと、生態系の保全により健全な森林環境を取り戻すため地域の森林整備等を一層進めていただきたくお願い申し上げます。

さて、政府においては、花粉症対策の一環として花粉の少ない森林への転換促進対策が推し進められております。森林組合系統と致しましても、系統運動「J Forest ビジョン2030」において、「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業の確立を掲げ、目標達成に向けて系統全体で主伐再造林に取り組むこととしており、再造林の低コスト化や苗木確保等の課題解決に取り組みながら花粉発生源対策と合わせて推進していく所存です。

一方、「植えて、育てる」ためには木を積極的に「使う」ことが重要であり、特に木材は建築物等に利用することで製造時のCO₂排出量が少なく済むことに加え、吸収したCO₂を長期間固定でき地球温暖化防止に貢献します。政府では令和7年10月1日より、森林資源を循環利用し全国で街の木造化を進める「『森の国・木の街』づくり宣言」の募集を開始しました。弊会においても宣言に賛同したところであり、今後多くの自治体や企業が建築物の木造化など木材利用の推進、木材利用の効果の見える化に取り組むことが期待されます。

加えて、人材の確保・育成の取組も重要です。一昨年から開始された林業技能検定制度は、本格的に全国各地で試験が行われ、森林組合等に所属する多くの現場技能者が受検しております。

また、昨年10月には、「第4回日本伐木チャンピオンシップ（JLC）in鳥取」が開催され、本年3月にスロベニアで開催される世界伐木チャンピオンシップ（WLC）への出場者が決まっております。勝ち抜かれた選手の皆さんには、世界大会でも実力を遺憾なく発揮されることを期待しております。

昨年10月には我が国初の女性首相による内閣が発足致しました。ジェンダーギャップレポートでは長年、主要7か国で最下位であった我が国ですが、これを機に好転が期待されるところであり、森林組合系統におきましても女性理事や管理職の登用など女性活躍推進活動をさらに強化して参りたいと存じます。

また、2025年国際協同組合年において各地で取り組まれた協同組合間連携につきましては、昨年で終わらせる事なく継続して推進していくことが重要です。SDGsの達成やカーボンニュートラル社会の実現等、社会課題の解決に向けた取組を「実践」し、広く「発信」しながら、森林組合系統の活動に対する社会の認知を高めるとともに、系統の更なる発展と「J Forest ビジョン2030」の実現を目指して参ります。

今後も、弊会では系統関係者及び関連団体とともに、人材の確保・育成、森林資源の循環利用、国産材利用促進等に向け、役職員一同精進する所存です。倍旧の御指導、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって幸多き一年となりますよう祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。

◇◇ 第11回みえチェーンソー技術競技大会 ◇◇

令和7年10月5日（日）、多気郡多気町のVISON（ヴィソン）内のKiond（キオンド）芝生広場において、第11回目となる「みえチェーンソー技術競技大会」が同実行委員会主催により開催され、県内の6事業体から14名の現場技術者が参加しました。

この大会は、他産業に比べ労働災害が多い林業現場におけるチェーンソーの安全で正確な作業技術の向上を図ること、他事業体の技術者との交流促進と、一般の方への林業のPRを図ることを目的に開催しています。

競技は「丸太合わせ輪切り」「枝払い」「簡易伐倒」の三種目で行われ、その合計得点で順位を決定します。

時間の速さと仕上がりの正確さはもちろん加点対象ですが、チェーンソーの不安全な使用方法、安全防具の適切な装着など、安全面に関するペナルティポイントを減算したものが各競技の得点となります。

当日は、小雨の降るあいにくの天候でしたが、参加した選手は上位入賞を狙ってスピードと作業の正確さ、安全な動作を競い合いました。

この大会を通じて現場技術者の安全意識の向上と、安全で正確な作業技術の習熟につながることを期待しています。

最後に例年開催にご協力頂いております関係者様、協賛頂いた企業・団体様、そして競技に参加された参加者様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

◇◇ 第30回 全国森林組合大会 ◇◇

去る10月21日に東京都の銀座プロッサム中央会館において、全国森林組合大会が開催され、三重県からは13名が参加しました。

本大会では、優良組合表彰として三重県からは中勢森林組合が全国森林組合連合会会長表彰を受けるとともに、系統の発展に功績のあった「功労者表彰」では、県内から職員並びに現場技能者8名が表彰されました。このほか「感謝表彰」の受賞者代表への賞状の授与、元林野庁長官の皆川 芳嗣氏による「日本の森林・林業の来し方と未来」と題した記念講演が行われ、「令和8年度 林業施策・予算に関する要望」が以下の通り決議されました。

令和8年度 林業施策・予算に関する要望

- 1 2050年ネット・ゼロ・国土強靭化に向けた森林整備・保全と適切な管理の推進
 - ・国土強靭化のための森林整備事業予算の安定確保及び森林整備事業の強化
 - ・花粉発生源対策、再造林対策の強化等森林整備事業の充実
 - ・路網整備の充実・強化と予算の確保
 - ・施業集約化・森林境界明確化への支援強化
 - ・森林病虫獣害への対策強化・拡充
 - ・森林由来J-Creditへの支援の強化
- 2 人材の確保・育成と労働安全対策推進強化
 - ・「緑の雇用」や森林プランナー等人材確保・育成対策予算の拡充
 - ・林業における技能検定実施及び外国人材受入れの支援強化
 - ・労働安全確保対策推進強化
- 3 生産性向上と需要拡大による国産材の供給・利用促進等
 - ・国産材のシェア拡大及び持続的かつ安定的な供給体制の構築
 - ・木材の需要拡大と価格安定対策の推進
 - ・ICT技術の活用・デジタル化の推進や高性能林業機械の導入・更新のための支援
- 4 激甚な災害からの復旧・復興
- 5 林業及び山村振興等に必要な林業税制の改正

◇◇ 第13回 三重県森連協賛市 ◇◇

令和7年12月3日（水）、三重県松阪市のウッドピア松阪内にあるウッドピア市売協同組合において、恒例の県森連協賛市を開催いたしました。

今回の市では、県内の7森林組合から選りすぐられた良質なスギやヒノキの原木が数多く出荷され、集まった原木は約1,000m³となりました。

当日午前中に始まった競りでは、威勢の良い掛け声とともに原木が次々と落札され、会場は活気に包まれました。

ご協力いただきました関係者の皆様にお礼申し上げますとともに、今後も協賛市を通じて、三重県産材のブランド価値向上と、森林組合系による林業・木材産業の活性化を改めて印象づけられるよう努めてまいります。



県森連専務あいさつ



協賛市の風景

◇◇ おしらせのページ ◇◇

◆ 災害に備える森林保険、令和6年より保険料が下がりました ◆

森林保険は、令和6年に保険料率や契約期間等が見直され、三重県内では従来の保険料から約25%程度値下げとなっております。

森林所有者自らが災害に備える唯一のセーフティネットとして、広く皆様にご活用いただければ幸いです。

ご加入の相談、保険料の試算などは、お近くの森林組合または三重県森林組合連合会へお問い合わせください。

改定内容				
針葉樹		広葉樹		
1~5年生	4.29円	▶	3.16円	
6年生~	3.22円	▶	2.50円	
1~5年生	2.15円	▶	1.58円	
6年生~	1.61円	▶	1.25円	
ご契約お見積り例				
スギ1年生(保険金額101万円) 年額保険料 4,332円 ➔ 3,191円/ha !				
付保率 100%	樹種 スギ	面積 1 ha	契約時林齢 1年生	保険期間 5年間
林齢	保険金額	保険料		
毎年の分割払い (継続割引適用)		旧料率	新料率	
1年生	101万円	4,332円	➡️ 3,191円	
2年生	119万円	4,950円	➡️ 3,653円	
3年生	144万円	5,990円	➡️ 4,420円	
4年生	166万円	6,905円	➡️ 5,096円	
5年生	188万円	7,820円	➡️ 5,771円	
	総額保険料	29,997円	➡️ 22,131円	
	5年分の一括払い (長期割引適用)	27,444円	➡️ 20,207円	

ご不明な点がございましたら、三重県森林組合連合会もしくは森林保険センターまでお問い合わせください。

◆ 施業関連資材の購入助成の新設について ◆

令和7年度後期から森林組合系統に対する施業関連資材購入費用の助成制度が新設、募集されました。本県では1組合から応募いただきました。

- ① 対象団体:森林組合及び森林組合連合会
- ② 対象備品:再造林および主伐・間伐の推進に資する商品
- ③ 助成上限金額:一組合当たり100,000円
- ④ 次回募集:令和8年上半期を予定しております。

